

特集

Special Feature / Creating "Well-Being" Communities

幸せな地域の暮らしをつくる

いま日本では、経済的な豊かさよりも心の豊かさを求める人が増え続けているという。国際的にも、経済成長だけでなく、社会の進歩を把握するための指標として「幸福感」が登場し、幸せを指標化する動きは日本国内でも徐々に始まっている。一方で、政府が推進する「地方創生」において、地域経済や雇用、女性や若者の活用などの取り組みが注目されている。こうした社会背景を踏まえ、本特集では、個人個人が幸福を実感できるような地域と暮らしづくりの「ものさし」としての幸福感を考えてみたい。

物よりも心の豊かさを求める人が増えている。

「今後の生活において、これからは心の豊かさか、まだ物の豊かさか」との質問への回答結果の推移。

「国民生活に関する世論調査」平成23年10月調査報告書(内閣府)より。

「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」と答えた人の割合

心の豊かさ

61.4%

「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」と答えた人の割合

物の豊かさ

31.0%

37.3%

(年月) 昭和47 1 48 1 49 1 49 11 50 5 50 11 51 5 51 11 52 5 53 5 54 5 55 5 56 5 57 5 58 5 59 5 60 5 61 5 62 5 63 5 平成元 5 2 5 3 5 4 5 5 6 5 7 5 8 7 9 5 11 12 14 6 15 6 16 6 17 6 18 10 19 7 20 6 21 6 22 6 23 10